

多治見市 GIGA スクール推進プロジェクト

多治見市教育委員会 教育研究所

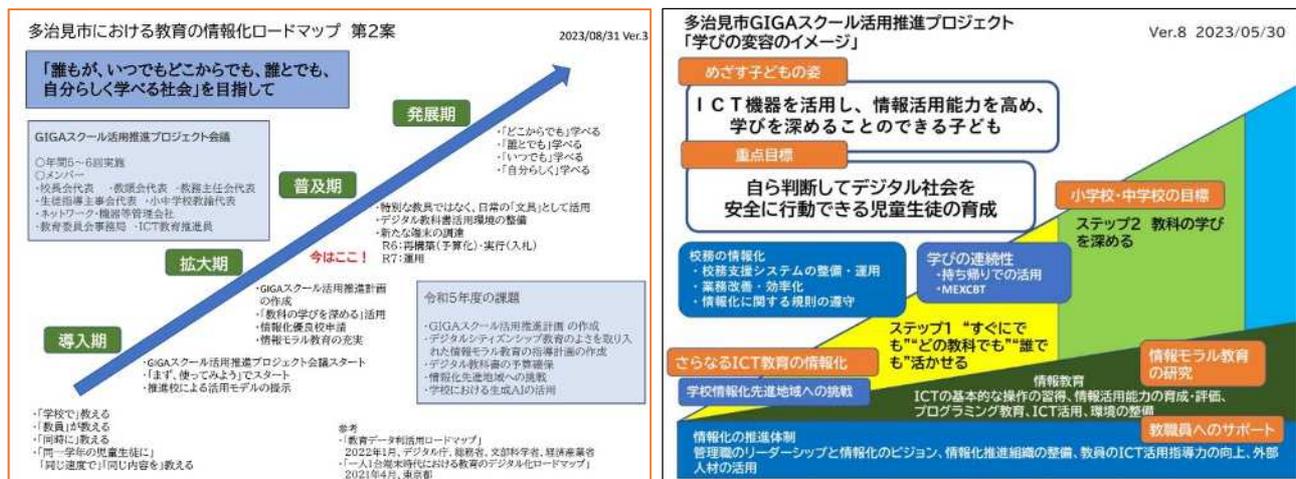
1 はじめに

多治見市教育委員会は、平成30年に「第2次多治見市教育基本計画」(平成30年3月)を策定しました。基本施策「体力・学力を高める教育・保育の推進」に「ICTを活用した教育の推進・プログラミング教育の導入支援」を位置付け、教育の情報化に取り組んできました。

令和2年4月に「GIGAスクール活用推進プロジェクト会議」を立ち上げ、令和2年度末には、校内LAN、一人1台端末、大型モニターの整備が完了しました。令和3年度からは「ICT機器を活用し、情報活用能力を高め、学びを深めることのできる子ども」を目指し、本格的に一人1台端末を活用した授業がスタートしました。その後、令和5年3月に「第3次多治見市教育基本計画」を策定し、基本施策「体力・学力を高める教育・保育の推進」に「情報活用能力の育成」を位置付け、タブレット端末を活用した学習や、情報モラル教育を推進しています。

2 将来を見据えた教育の情報化の計画

将来を見据えた教育の情報化の方向性を、市内の教職員と共通理解し取り組むために「教育の情報化ロードマップ」と「学びの変容のイメージ」を作成しました。令和5年度は、ロードマップの普及期の入口と位置付けています。「学びの変容のイメージ」では、「とにかく使ってみよう。」から始めて令和5年度は、小・中学校ともに「教科の学びを深める」ことを目標に取り組んでいます。



3 具体的な取組

(1)「GIGA スクール活用推進プロジェクト会議」の開催

令和2年度4月に立ち上げ、継続して GIGA スクール構想の方向や、学校での活用方法などを話し合っています。メンバーは、教育委員会、校長代表、教員代表の学校関係者に加え、ネットワーク管理会社など、学校外の方からも意見を聞き、GIGA スクール構想を推進する体制を構築しています。

(2)元校長・教頭からなる ICT 教育推進員の配置

令和4年度に、元校長・教頭からなる ICT 教育推進員を3名雇用し、タブレット端末の活用支援だけでなく、授業改善も含めた児童生徒、教職員のサポート体制を整えました。元校長・教頭という利点を生かしたきめ細かく迅速な対応で、授業や授業外の活用、校務において、教職員のICTの活用が格段に進みました。それに伴って、児童生徒のタブレット端末の活用の幅も広がりました。令和5年度は、1名増員し、4名で多治見市の ICT 教育を支えています。

(3) 学校の活動や校務での活用に向けた教職員へのサポートの充実

本市では教育研究所の指導主事や ICT 教育推進員が中心となって研修等を行っています。

- 校務支援システム：教務主任を中心に実施。
- ICT 利活用研修：令和 2 年からスタート。各学校の情報教育主任や ICT 活用推進担当など複数の教員が参加してオンラインで実施。
- ロイロノート研修：夏季休業中にロイロ社の担当者が講師として研修を行う。初級・中級・上級などのグループに分かれてスキルアップを図る。
- 職務部会での研修：校長会でデジタルシティズンシップ研修、教頭会でデジタルシティズンシップ研修、ICT 研修、生成 AI 研修、事務職員部会でロイロノート、GoodNotes などグループ別研修を実施。
- ICT 教育推進員による研修：学校または個人で、希望する受講者のニーズに合わせて実施。
- 「ICT 活用ガイドブック」の作成：タブレット端末・アプリの使い方、トラブル対処法、実践事例集等をまとめた冊子を作成。毎年更新。
- 「デジタル化のススメ」の配信：会議での取組の様子や各学校で取り組んでいる情報モラル教育等について、Teams を使って市内全教職員にデジタル配信。(週 1 ~ 2 回)



(4) 情報モラル教育の推進



目標を「自ら判断してデジタル社会を安全に行動できる児童生徒の育成」とし、「多治見市情報モラル教育推進プラン」を作成しました。これに、デジタルシティズンシップ教育のよさを取り入れた情報モラル教育の推進に取り組んでいます。取組は下記の通りです。

- ・情報モラル指導計画の作成
- ・情報教育主任会と生徒指導部会の連携
- ・情報モラル推進校の指定（4校）

(5) 「学校情報化診断システム」の活用

日本教育工学協会(JAET)の「学校情報化診断システム」を活用して、「教科指導における ICT 活用」「情報教育」「校務の情報化」「情報化の推進体制」の4つの項目で、情報化の進捗状況を評価しています。その結果、令和 4 年度に、すべての公立小中学校が「学校情報化優良校」に認定されました。その後も定期的に「学校情報化診断システム」でチェックを行い、情報化の進捗状況を把握したり、自校の強みや課題を再確認したりしています。

4 東海3県で初めて「学校情報化先進地域」に認定

令和 5 年度には、多治見市が、東海 3 県で初めて「学校情報化先進地域」に認定されました。以前から各学校で活用してきた iPad を導入したことで、教職員が操作方法で戸惑うことなく活用することができています。また、苦手な教職員も積極的に研修に参加し、スキルアップを目指しています。その成果が全国学力・学習状況調査質問紙の結果にも表れています（「前年度受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか」の質問で、ほぼ毎日と答えた児童生徒の割合：小学校約 65%、中学校約 80%）。

課題は、『人事異動で本市に転入してきた教師のサポート』です。GIGA スクール構想で各市町村が配付した機種の違いにより、本市に転入された教職員が iPad の使用方法等で困ることがないように研修を行ったり、マニュアルの整備を進めたりしていきます。今後は、課題に対応するだけでなく、生成 AI 等への理解を深めるための研修も行っていきます。